

## ■ 中央大学SENDプログラム（日本語教育）

SENDとは、文部科学省のグローバル人材育成における取り組みを表す用語で、「Student Exchange - Nippon Discovery」の略です。日本人学生が留学先の現地の言語や文化を学習するとともに、現地の学校などでの日本語指導支援や日本文化の紹介活動を通じて、学生自身の異文化理解を促すことを海外留学の目的の一つとして位置づけ、将来、日本と留学先の国との架け橋となるエキスパート人材の育成を目指す取り組みです。

「中央大学SENDプログラム（日本語教育）」は、この取り組みと目的・内容ともに一致しますが、とくに日本語教育に重点を置いたものとなっています。全学部生を対象として、2回の留学を含む4段階構成の魅力あるプログラム提供をしています。

段階2と段階4で実施される留学は、その目的や内容だけでなく、留学先での生活体験という点でも大きく異なります。段階2のロンドン留学では、イギリスという馴染みのある国で、同じプログラムの受講生である仲間たちとともに留学生活を送ります。

一方、段階4では、一人あるいは少人数で様々な国・地域に出かけていくことになります。心細い思いをしながらも、このプログラムを修了することで、世界には様々な場所や考え方があることを身をもって体



IIEL での入学式の様子



IIEL で講義を受ける学生たち

験し、グローバルな視点を持った人材として大きく成長することができます。

第1期生は、2012年度後期から受講しており、現在、各学部から応募し選抜された32名が学んでいます。履修条件を満たせば、どの学年からでもスタートが可能です。今後もより多くの学生の参加を期待します。

プログラムの流れ	
段階1	中央大学で基盤となる科目を履修（6単位）
段階2	英国国際教育研究所（IIEL）にて、日本語教育に関する専門科目を履修
段階3	中央大学で日本語教育・異文化理解教育に必要な科目を履修（6単位）
段階4	中央大学の海外協定校において、日本語教師アシスタント（TA）として日本語教育・日本語文化を紹介